

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院高齢者総合診療部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の 診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2018年11月～2021年10月の間 に虎の門病院に入院した70歳以上の高齢者

【研究課題名】

病棟における高齢者のせん妄研究

【研究の目的・背景】

《目的》

ベンゾジアゼピン系の薬剤はせん妄の原因となることが知られている。しかし当院では病棟配置薬としてベンゾジアゼピン系の薬剤を置いており、高齢者に処方され、せん妄を引き起こすことがあった。そのため、病棟配置薬をベンゾジアゼピン系以外の薬剤に変更した。さらに、せん妄対策マニュアルを作成・配布し、ベンゾジアゼピン系の薬剤を処方しないよう周知した。その結果、高齢者のせん妄の発生件数がどのように変化したかを見る。

《研究に至る背景》

高齢者のせん妄のリスクファクターを明らかにする。どのようにベンゾジアゼピン系の薬剤使用を減らしていくかを明らかにすれば、今後のせん妄対策の取り組みにつながる。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年10月27日 ～ 2024年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 認知症科（元・高齢者総合診療部）部長 井桁之総のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 性別、年齢、診療科、ベンゾジアゼピン系薬剤の内服の有無、認知症の有無、

【研究代表者】

虎の門病院 認知症科（元・高齢者総合診療部）部長 井桁之総

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 認知症科（元・高齢者総合診療部）部長 井桁之総

【利用する者の範囲】

認知症科（元・高齢者総合診療部） 部長 井桁之総

高齢者総合診療部・精神科 久山なぎさ

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年6月30日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 高齢者総合診療部・精神科 久山なぎさ

電話 03-3588-1111(代表)